

東北文化の日関連イベント 民話を楽しむ日

10月26日(日)

午前の部 10:30~12:00

午後の部 13:00~14:30

本日開催する『民話を楽しむ日』では、普段の「南部弁」の語りに加えて「津軽弁」の語りを聴くことができます。

また、名作落語『芝浜』を演劇として上演いたします。

南部弁と津軽弁それぞれで語られる民話や、『芝浜』の世界観を再現した演劇を最後までお楽しみください。

南部弁の語り：十和田民話語りべ「わの会」

2000年の称徳館開館とともに発足し、「南部弁による民話」を守り、伝える活動を行っています。称徳館での上演のほか、十和田市内外の保育施設、教育施設、福祉施設、イベント等にも数多く出演しています。

津軽弁の語り：むかし話っこ語りびと「なやわや」

2007年に青森市で「津軽弁語り部講座」を受け、2010年に「なやわや」を結成しました。津軽地域の小学校や福祉施設などでボランティアとして語っています。

津軽弁の語り：むがしっこ語る会「ゆきん子」

五所川原市の教育委員会が主催した「昔語の養成講座」の受講生のうち、23名により2013年に結成されました。五所川原市の公共施設での語りや市民講座の講師、県内外のイベントにも出演しています。

演劇の脚本・演出：越後屋徳兵衛

劇団(越後屋一座)を主宰するかたわら、脚本・演出家として数々の演劇公演や市民ミュージカルなどを手掛けています。また、ラジオドラマの執筆や映画の脚本制作、語りべの表現指導なども行っています。今日は、古くからの演劇仲間とユニットを組み、古典落語の演劇という新ジャンルに挑みます。

○語りべ募集中

興味のある方は称徳館までお問い合わせください。

TEL：0176-26-2100

○南部弁による民話の語り

4月~11月の第2、第4日曜日と祝日に上演中です。

詳しい日時はホームページをご覧ください。



東北文化の日



駒っこランド

～演者と演目のご紹介～

10：30～11：30 民 話

笹森としい（わの会）…『七つの蔵』
 会津 昭恵（わの会）…『へびの恩返し』
 相馬 邦子（なやわや）…『口約束』
 吉田 ミエ（わの会）…『馬さ乗る』
 成田真紀子（わの会）…『からすの話しっこ』
 春藤 篤子（ゆきん子）…『弥三郎節』
 安保 静雄（ゆきん子）…『ほら吹き』
 中谷トシエ（ゆきん子）…『婆様のやぎもじ』

11：30～11：50 演 劇「芝浜」

〈あらすじ〉

お酒が好きで働かなくなった主人公の勝五郎と妻のおみつの物語。
 妻に叱られて渋々仕事に出た勝五郎は浜辺で大金の入った財布を拾う……。

脚本・演出 … 越後屋徳兵衛
 出 演 … 篠田 浩平 加藤 友希
 語 り … 一本松きよ
 音 響 … 馬はなし亭呑助

11：50～12：00 民 話

一本松きよ（わの会）…『琴のけいこ』

13：00～13：30 民 話

柳沢 博子（わの会）…『大工と鬼六』
 大島百合子（なやわや）…『本妻と妾』
 三好みせ子（わの会）…『赤げ櫛っこ』
 最上 とし（なやわや）…『虎ときつねのはけじょこ』
 笹森としい（わの会）…『虹の根っこの宝物』

13：30～13：50 演 劇「芝浜」

※午前の部と内容・演者は同じです

13：50～14：30 民 話

成田真紀子（わの会）…『まんま食ね婆』
 最上 とし（なやわや）…『つのぼの話っこ』
 会津 昭恵（わの会）…『茶、栗、柿』
 吉田 ミエ（わの会）…『白鷺の姉さま』
 大島百合子（なやわや）…『梅に 鶯』
 柳沢 博子（わの会）…『大工と鬼六』
 三好みせ子（わの会）…『メドチのひょうたん』
 相馬 邦子（なやわや）…『藤崎さあんべ』
 一本松きよ（わの会）…『くしゃみごんべい』

※内容は変更となる場合があります